

# 「環境保全」を考える姿勢と「環境適応能力」を身につける！

## 山河在り

東陽中学校だより

平成二十九年年度第二号

平成29年7月20日  
文責 米村

### 一学期の生活を振り返り、目標を再設定しよう

平成二十九年年度の一学期最終日となりました。気象の視点から今学期を振り返ってみると、例年とは比較にならない特異な期間であつたと言えます。四月は入学式まで東陽中自慢の桜が開花してました。今年度より春開催となつた小中合同運動会は、五月の晴天に恵まれ大成功。乾いた運動場にとつては、少しの雨がありがたかつたかもしれません。「空梅雨」におもわれた六月でしたが、七月の台風3号や九州北部豪雨を目の当たりにして、防災の備えがいかに大切で難しいものかを痛感させられました。九州北部の梅雨明けはもうすぐでしょうが、連日の三五度に迫る猛暑にも熱中症対策の必要性を感じ実践しています。地球温暖化に伴う、環境の変化がこのような「異常気象」をもたらしていることは疑いも無い事実のようです。温室効果ガスの削減を各国で話し合い「パリ協定」がつくられました。大国の主導者には事の重大さが理解されていらないようです。「省エネ」に関する取り組みは経済的にもメリットが

### 校訓 自主 剛健 奉仕

あるのですが。環境保全の対策は一国や個人がそれぞれに取り組んだところで大きな成果は得難いものでしょう。学校として、環境保全を考え続ける姿勢を育てるとともに安心・安全な環境を維持し、子どもたちの有意義な学校生活を確保していきたいと思えます。一学期の学校生活を個人ごとに評価したものが通知表です。学習の評価である5から1の数字が気になるでしょうか、担任の先生が思いを込めて表現した「担任からの連絡」もしっかりと受け止めてください。一年生にとつて初めての中学校生活の記録。掲げた目標との違いを明らかにし、その原因をしっかりと分析、二学期に備えましょう。二年生は3年間の中学校生活の振り返りをする機会になります。失敗を成功に変える機会が減るといふことです。3年生は二学期の共通テスト後に進路を決定する時期を迎えます。夏休みがいかに重要かは昔から言われてきたことです。



豊かな緑・自然に恵まれた東陽中の環境を守り活用していくことこそ、大きな教育の成果をもたらすもの。

### 先見性を磨き、変化していく環境に 適応する能力を育て、その力を発揮

世界遺産となり外国人を含め多くの登山者が頂上を目指す富士山は、一つの課題に直面しているそうです。ごみ持ち帰りトイレの有料化を推進しているにもかかわらず、ごみを便器に捨てる登山者が後を絶たない現実があります。トイレが使用できなくなるばかりでなく、富士登山が禁止となる日がやってくるのが予想できないのでしょうか。今の自分さえ良ければと短絡的に考える登山者には、山に入る資格はありえないと考えます。我々の日常生活においても、環境が日々変化し、これまでの経験値だけでは判断に迷うケースが増えてきたように感じます。決断を迫られ、次の一手が成功へとつながったり、迷ったために時機を逸してしまった苦い経験もあるのではないのでしょうか。

中学校生活を送る生徒の皆さんとしては、なるべく多くの機会を捉え、数々の失敗や成功の経験から、先を見通せる力、ある程度予想できる力を今身に着けておきましょう。年齢とともに生活している環境も変わります。東陽中を卒業する時が大きな転機です。その時に備えて、様々な環境下でも自分自身を失わず、また他者にも対応できる適応力を育てていくべきです。学校を少し離れる夏休みの期間に、普段経験しない環境下で適応力を磨いてみましょう。法律の範囲内で、命を危険にさらさないことが前提です。九月に一回り大きく成長した東陽中生に再会できることを楽しみにしています。

2003年、当時の東陽中学校生徒会によって制定された「東陽中人権宣言」まさに先見性の光るもの。どう生かすかは、今の東陽中生一人一人の生き方にかかっている。



裏面もご覧ください



<http://jh.higo.ed.jp/toyojhs/>

## 今後の生き方にもつながった中体連八代大会

六月二十四・二十五日を中心に平成二十九年度の八代中体連総体各種競技がそれぞれの会場にて実施されました。東陽中学校からは男子バレー部と女子バドミントン部が参加し、それぞれの成果をしっかりとつかみ、今後の生き方に活かせる戦いでした。

男子バレーボール部は第五中学校会場にて六月二十四日、一回戦を逆転で勝ち上がり二十五日、県中体連大会出場をかけてライバル校と対戦。惜しくも破れ、八代中体連大会三年連続三位の好成績を残しました。

女子バドミントン部は八代白百合学園体育館で団体戦・個人戦に参戦。団体戦では初戦を勝利で飾り、二回戦でも大規模校相手に一ゲームを獲得する健闘。個人戦でも、一回戦を次々に突破。中には三位となったダブルスのペアにもう少しで勝利できるのではといった熱戦を見せてくれました。

全校生徒の規模、部活動設置の数から考えるにすばらしい成果であり、あと一歩が残念であったと思います。残された課題を後輩が受け継ぎ、これまでの先輩方の思いも加え新たなスタートを切ってほしいものです。

女子ハンドボール部は七月二十二日、天草の稜南中会場にて、稜南中学校と県大会初戦を迎えます。先日氷川中学校にて行われた人吉第一中学校との壮行試合で得た課題を克服する活躍を期待しています。同日、東陽中三年生の小瀧颯真選手は県中体連水泳大会に出場します。

アクアドームでの力泳に九州大会出場の期待がかかります。



## 9月の中体連陸上に向け、陸上用スパイクが届きました

中体連総体各種競技は夏休みまでに全国大会までの全日程が終了し、全国の覇者が決定します。九月になると、中体連陸上競技大会が八代大会として開幕。十月の県大会出場を目指して各校のスプリンターがスピードや距離、跳躍などを競います。東陽中学校は全校で参加、各種目にエントリーする準備を佐藤先生による総指揮の下、現在進行中です。

その一環として欠かせないものに、陸上競技用のスパイクシューズを準備する計画がありました。一番の課題であった予算を氷川ライオンズクラブ様より、一月のダンスパーティーで頂くことができました。改めて感謝申し上げます。

選手諸君の活躍により恩返しができるかと信じます。



## 「校舎案内」の掲示板が生徒作品としてリニューアル

校長室入口のドア横に掲示している「校舎案内」の掲示板をようやくリニューアルすることができました。しかも、今回の「校舎案内」板は、三年生による美術の授業で中村先生の指導により完成されたすばらしい作品です。

平成二十七年度末に校舎耐震化工事が終了し、これまで掲示してあった案内板の内容に不備が生じていました。卒業式で使用している桜の屏風が、選択美術の生徒作品であることがヒントとなり、新しい案内板の製作を何事においても努力を惜しまない三年生に依頼したものです。是非とも本物を直接ご覧下さい。感動ものです。

### 3年美術の授業より撮影



## 本年度も書道生徒代表作品展示替!!



東陽中学校玄関正面の職員室前廊下に掲示している、書道生徒作品を本年度代表者の書に展示替えしました。「希」と「優」、いずれも三年生の大作です。作者名や漢字選定の理由等は、実際の作品を見てもらいたいので、ここでの紹介は控えておきます。「東陽町文化の祭典」実行委員長を務めておられる、大江田先生のご協力によるものです。製作者の生徒と大江田先生に感謝申し上げます。

最後までご覧頂きありがとうございました。